

大阪事務所レポート

宮崎カーフェリーは宮崎港と大阪南港の間を運行していましたが、10月1日より終点港が神戸港に移ることになりました。実は、1990年代中頃までは細島港～神戸港を運行していましたので、神戸に戻ってきたということもできます。

神戸港はこれまでに比べて宮崎港からの距離が約9キロ短かく、高速道路やJR・私鉄駅に近いため旅客の利便性が高いという特徴があります。今後、新たなフェリー航路の開設を機に、宮崎と神戸ともに人流・物流の活性化が期待されるところです。

このような動きを受けて、5月には三宮駅前で行われた『第4回神戸まつり』に大阪事務所も初出展しました。アンテナショップでは完熟マンゴーをはじめ鶏炭火焼・漬け物・冷や汁など43品目の宮崎ならではの県産品を販売し、ほぼ完売するなど大盛況となりました。



センターでのインターンシップ研修

9月8日～12日までの5日間、当センターに大学生3人のインターンシップを受け入れました。この期間中、3人は物産館での接客補助や品出し、イベントの準備・企業訪問など積極的に取り組んでいました。



(左から研修生の坂田さん、榎本さん、永見さん)



【坂田さん】

5日間という短い時間でしたが、店舗での業務に携わることができたり、センター職員の皆さんや地場企業の方から貴重なお話を聞かせていただきたりと充実した研修でした。マーケティングを学ぶゼミに所属して、お店の販売方法や消費者心理を勉強していますので、自分これからに大いに役立つ経験となりました。

【榎本さん】

地方自治やまちづくりといった問題に興味があり、将来は様々な形で地域への貢献を果たしていきたいと思っています。その中で、今回の研修では宮崎の生み出す商品の多様性とすばらしさに直に触れうことができ、地域産業の力を感じることができました。

【永見さん】

研修の3日に綾町に企業訪問してお話を聞くことができました。食品・織物・碁盤など長年にわたり受け継がれてきた技（製造法）を今に伝えている現場を見学し、一つの商品に込められた伝統の重さを感じました。宮崎の良さを再発見することができた研修となりました。

(企画課 永峰)

お土産買うなら～コンネ！ 県産品探すなら～コンネ！

この夏、MR TラジオでこのCMを耳にされた方もいらっしゃることでしょう。みやざき物産館KONNEのために7月から8月にかけて放送しました。センター職員も掛け声で出演しました。12月には冬バージョンも放送予定です。



センターニュース

Vol 48

Miyazaki Local Products and Trade Promotion Center Newspaper

九州どまんなか！味・技めぐり

6月12日～6月18日までの7日間、さっぽろ東急百貨店において「九州どまんなか！味・技めぐり」を開催しました。

昨年までは“南の国 宮崎の物産と観光展”として22回を重ねてきましたが、今年からは熊本及び大分の企業も加わった3県合同の物産展となりました。（全体：51社、うち宮崎県：食品・酒類14社、工芸11社）



会場内ではそれぞれの地域のことばで販売する様子が見られ、また各県のゆるキャラの登場などもあって北国に九州の温かさ



を伝える時間となりました。

県単催事でなくなったことを寂しがる声も聞かれましたが、来年以降も北海道に宮崎の魅力をPRする物産展にしたいと思います。
(企画課 上原)

みやざきのクラフト～次世代の工藝のカタチ～



7月16日～29日までの14日間、鹿児島山形屋において、県内在住の若手工芸家（おおよそ45歳以下）10名による工芸品展示会「みやざきのクラフト」を開催しました。



県からの委託事業により3年目となるこの取り組みですが、今回の会場となった鹿児島山形屋はメンバーの目標としていた場所であったことから、開催を迎えた初日は大変感慨深いものがありました。

前期では革製品・陶器・藍染・木製品、後期では木製家具・木のおもちゃ・ガーゼ服・陶器を展示し、来場客に商品の魅力を丁寧に伝えながら販売しました。また、後期の初日には地元のラジオ局MBCに取材を受けるなど、宮崎の若手工芸家の活動についても広くPRすることができました。

ただ、目標としていた売上額に届かなかったなどの反省点もありましたので、これらについてメンバーでよく議論し、今後の展示販売会に活かていきたいと考えています。
(企画課 松下)

発行所
公益社団法人 宮崎県
物産貿易振興センター
宮崎市宮田町1番6号
TEL 0985-38-9351
FAX 0985-38-9354

平成26年9月24日発行

目次	
さっぽろ東急物産展	1
若手工芸家展示会	1
食品見本市 in 台北	2
食品見本市 in 香港	2
上海事務所レター	2
夏の焼酎フェア	3
7～8月売上情報	3
お中元フェア	3
大阪事務所レポート	4
インターンシップ研修	4
ラジオCM	4

フード台北 2014

6月25日～28日の4日間、台湾最大級の国際総合食品見本市である「フード台北2014」が台北市で開催されました。

近年、台湾では日本文化に対する関心の高まりや健



康志向を背景に日本食品市場が拡大している中で、台湾での販路開拓を目指す企業にとって効果的な見本市となっています。

主催者の発表によると、35カ国から1,038社が出展し、入場者数は65,552名と昨年を上回り、海外の熱気を肌で感じる大盛況となりました。

日本貿易振興機構（ジェトロ）が設置した日本パビリオンの中の本県ブースには乳製品・酒類・調味料・農産物などの9社の出展がありました。

会期中、プロの料理人による各県の食材を用いた料理デモンストレーションが行われ、本県からの出品されている椎茸や漬け物なども使用されました。試食した来場者からは素晴らしい食材と一流シェフの技を贅沢に楽しめたと好評の声が聞かれました。（総務貿易課 山本）

レストラン&バー 香港2014

9月2日～4日の3日間、香港で開催された食品見本市「レストラン&バー香港2014」に宮崎県ブースを設置しました。この見本市はレストラン、ホテル、カフェ、バーなどのフードサービス市場に焦点が絞られたもので、シェフやサプライヤーといった業界関係者が中心に来場するのが特徴となっています。

本県からは水産物・肉類・加工食品・調味料・酒類・飲料などを取り扱う9社が出展し、業務用として売り込むための商談の機会となりました。会期中のブース来客者等は延べ1,360人にのぼり、現地のバイヤーだけでなく、他のアジア系や欧米系の関係者に対しても本県の商品を広くアピールすることができました。

香港と言えば、宮崎空港と香港国際空港間を結ぶ定期路線が新設されると先月発表になりましたが、当センターとしても今後ますます拡大していくことが予想されます。（総務貿易課 柏木）



る東アジアにおける人・物・情報の交流を支援していきます。（総務貿易課 柏木）

上海事務所レター ~中国 食の安全・安心に対する意識~

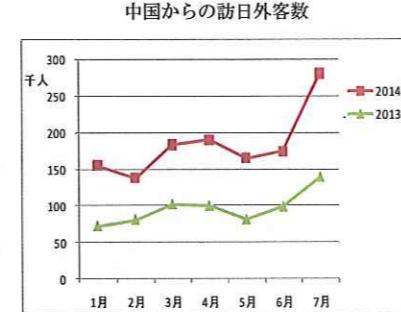
このところ中国では、日本でも連日報道された中国企業の期限切れ肉等使用の問題発覚を契機に食の安全・安心を求める声が強まっています。中国人消費者の意識はこれまでの価格重視から、商品の品質をより重視する方向へ向かっていくものと思われます。

両国の関係が冷え切っている中、中国では未だ食品の輸入に関する規制も多く一筋縄ではない市場ですが、多くの中国人にとって日本食品は高級品というイメージが依然として強いものの、安全で品質と味が良いという評判が近年定着してきています。一般庶民にはなかなか手が届かない現状ではありますが、富裕層の拡大とともにその需要は高まっています。

また一方では、中国からの訪日旅行者数は好調で毎月過去最高を記録しており、個人レベルでは日本に対して強い関心を示している状況がうかがわれます。海

外旅行で日本食を経験した人がその後日本の食品を求めるというサイクルもあり、このこともニーズが増している一因と思われます。

今後、中国本土での県産品の販路拡大を考えられている会員のみなさん、中国の市場に関する情報については上海事務所にお問い合わせください。可能な限り御要望に合うよう努めてまいりたいと思います。（上海事務所 大生）



出典：日本政府観光局

みやざき物産館企画イベント『夏の焼酎フェア』

この夏、初めての企画として『夏の焼酎フェア』を6月2日～8月31日まで開催し、夏季限定焼酎や夏におすすめの酒・ビールなどのコーナーを設け、展開しました。

涼しげさを醸し出すようにボトルやラベルにも凝った商品が多く、20度前後のすっきりとした口当たりでストレートやロックがおすすめでした。



父の日のプレゼントや贈答用などに好評でほぼ完売となりました。

ディスプレイについても、スタッフがアイデアを出し合い夏を感じるコーナーが仕上がり、新たな展開としての手応えを感じることができました。（営業課 前田）



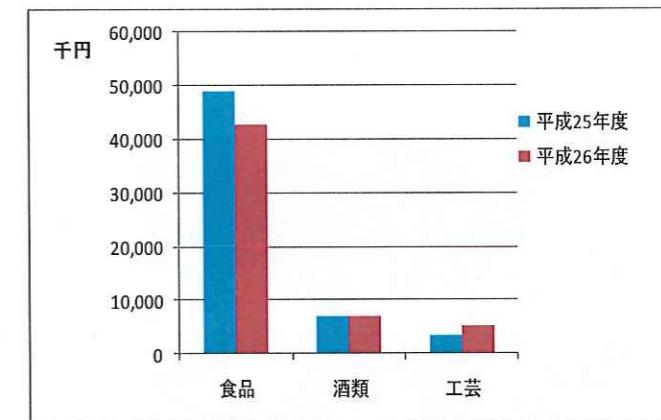
みやざき物産館KONNE

7月～8月の売上情報

みやざき物産館の7月～8月の売上は、台風の影響で2日間臨時休業したこともあって、対前年比13%減となりました。その中にあって、食品ではテレビで紹介された効果もあってお茶・漬け物の注文が殺到し、対応に追われる場面がありました。

酒類はこの期間に“夏の焼酎フェア”を開催するなど販売促進に努め、ほぼ前年並みの実績となりました。麦焼酎・清酒・どぶろくなどが好評でした。

工芸は記念品としての利用・購入が多かったことや、“みやざき犬”グッズが夏休みのお土産でよく売れたことで対前年を大きく上回りました。（営業課 濱田）



みやざき 夏のギフト ~お中元フェア~



『2014お中元フェア』を6月20日～8月15日まで開催しました。

今回は44社から66点を掲載し、中元・歳暮の実績としては過去最高となる2,455千円(前年度比191%)を売上げました。平均単価は2054円でした。

分類別に見ると、菓子類(ゼリー・プリン類)、ジュース類、畜産加工品類(鶏炭火焼・ささみくんせい)、調味料(ドレッシング類)などが人気となっていました。

これに併せて、物産館オリジナル県産品詰合せも6種類用意しましたが、“焼酎とおつまみセット”や“そばとめんつゆセット”などが好評でした。

今回から新米の予約販売もカタログに盛り込みましたが、お客様からの反応も上々で、これから新たな展開が期待できたところです。（営業課 前田）